

種類別明細書の記入例

「資産の種類」
以下の数字で記入してください。

- 1 → 構築物
- 2 → 機械及び装置
- 3 → 船舶
- 4 → 航空機
- 5 → 車両及び運搬具
- 6 → 工具及び備品

「資産の名称等」
資産の名称及び規格等を、カナ・漢字・英字及び数字で記入してください。

「取得年月」
資産を実際に取得した年月を記入してください。年号は以下の数字で記入してください。

- 3 → 昭和
- 4 → 平成
- 5 → 令和

「取得価格」
当該資産を取得するために支出した額(引き取り運賃・荷役費・運送保険料・購入手数料・その他その資産を事業の用に供するため直接要した経費を含む。)を記入してください。

「年度」
申告する1月1日現在の和暦の年を記入してください。

種類別明細書(増加資産・全資産用)

「所有者名」
氏名又は名称を記入してください。ページ数についても記入してください。

令和 年度		所有者コード		資産の名称等		取得年月		取得価額		耐用年数		減価残存率		価格		課税標準の特例		課税標準額		増加事由		摘要	
※ 入力方法	行番号	資産の種類	資産コード	数	取得年月	取得価額	耐用年数	減価残存率	価格	課税標準の特例	課税標準額	増加事由	摘要										
号	号	号	号	量	年 月	(円)	年 月	(%)	(円)	率	(円)	1-2 3-4											
	01	2		1	4 20 8	1,500,000	7					1-2 3-4											
	02	2		1	3 00 9	500,000	7					1-2 3-4											
	03	6		1	4 28 5	200,000	4					1-2 3-4											
	04	2		1	4 30 8	1,000,000	7					1-2 3-4											
	05											1-2 3-4											
	06											1-2 3-4											
	07											1-2 3-4											
	08											1-2 3-4											
	09											1-2 3-4											
	10											1-2 3-4											
	11											1-2 3-4											
	12											1-2 3-4											
	13											1-2 3-4											
	14											1-2 3-4											
	15											1-2 3-4											
	16											1-2 3-4											
	17											1-2 3-4											
	18											1-2 3-4											
	19											1-2 3-4											
	20											1-2 3-4											
				小計	3	2,700,000 2,200,000																	

【印字された明細書を訂正する場合】
資産を滅失した場合は、朱書きで抹消してください。
訂正がある場合は、朱書きで訂正を行ってください。

第二十六号様式

「摘要」
当該資産について、次のような事項を記入してください。

- ①課税標準の特例適用資産についてはその適用条項。
- ②耐用年数の変更があった場合は、その旨の表示。
- ③増加償却を行っている場合は、その旨の表示。

「増加事由」
増加資産を記入した場合にはいずれかを○で囲んでください。

- 1 → 新品取得
- 2 → 中古品取得
- 3 → 移動による受け入れ
- 4 → その他(摘要欄に理由を記入)

(資産の種類) 1. 構築物 2. 機械及び装置 3. 船舶 (年号) 3. 昭和 4. 平成 5. 令和 (増加事由) 1. 新品取得 2. 中古品取得 3. 移動による受け入れ 4. その他